



南国市長
小笠原 喜郎

恵まれた環境で 伸びゆく郷土を

皆様、新年おめでとうございます。新しい年を迎える度に人の心が一新されるような気持ちになり、一つのくぎりができることで一層意義深いものを感じます。将来を考へ新しい生活計画を立てて希望の出発点としたものであります。市民の皆様には日ごろから市政に対する温かいご理解と絶大なご協力をいただいております。あらためて厚く御礼申し上げます。

本市を取り巻く環境や諸情勢については二つの見方や考え方ができると思います。長期化する円高

不況は、市民生活にも影響を与えております。半面、行政需要は年々、量、質ともに複雑多様化しつつあります。これに対応する財政状況は厳しいものがございます。

昨年は行政改革懇談会の意見をいただき、各般にわたり非効率や不合理を正すよう努力してまいりましたが、いまだ成果に乏しいのが現実の姿であります。今後とも市民の皆様のご理解とご協力により行政改革大綱の趣旨を実現することに努めなければなりません。間近に控えた六十二年度の予算

編成に当たりましては、行政効率向上に十分反映できるよう努力いたします。

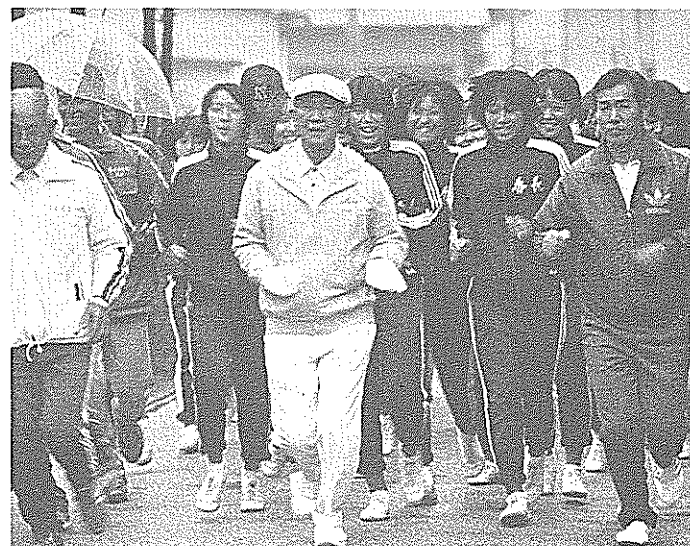
他面、南国市内の国道、県道、広域農道などの道路網が着々と整備され交通体系の確立が図られております。それに今年度は高知県で最初の高速自動車道と南国インターチェンジが同時に開通します。多年の念願でありました比江山公有地の処分もミロク機械やカシオ計算機に大半を処分できました。地元の皆様のご協力のおかげであり衷心より感謝しております。

空、陸の交通輸送の基地としての諸条件が整備されるにつれて、企業誘致や地場産業への投入など第二次産業の充実が可能となりつつあります。教育施設の充実や同対策にも力をそそぎバランスのとれた自治体へと向上発展していくことを望ましい姿であります。

南国市は古い文化の遺産を受け継ぎ今日に至っております。食料等の供給基地としても全国有数の自然条件に恵まれたところであり、このような恵まれた環境に生かされている我々こそは、近づいてくる二十一世紀に対応する心構えを怠ってはならないと存じます。本年もまた、皆様に幸福が訪れるようお祈りします。

350人が走り初め

南国市体育初め



今年の飛躍を願い、市長らを先頭に350人が元気に走り初め

恒例の体育初めが一月五日に行われ、小笠原市長を先頭に約三百五十人が走り初めをしました。午前九時半に市役所玄関前に集合した参加者は、市長や市体育協会の別役勝副会長のあいさつの後、準備体操をして出発。まず日吉神社に向かいました。日吉神社で健康を祈願した後、後免町商店街を通過して電車通りを再び市役所へ。あいにくの小雨模様を吹き飛ばすように元気に走り抜けました。

市民の皆様には御家族おそろいで素晴らしい新年をお迎えのことと存じます。

南国市も合併以来二十七年が経過しましたが、ときには苦難な時期もありました。最近社会情勢の変化及び世界的経済不況等の影響もあり、財政状況も厳しくなってきました。

しかし、本市を取り巻く状況は暗いムードだけではありません。将来大きく飛躍できる立地条件が着々と整備されているからです。既に高知空港が拡張、整備され

高速自動車道への

対応の年に

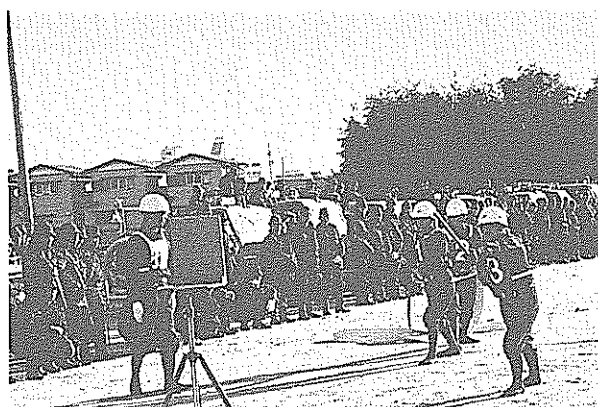


南国市議会議員
岡崎 俊一

これだけを見ても、我が南国市は力強く伸びゆく都市であり、希望に満ちた郷土であります。これを表現するため議会としても、その責務を自覚し、更に努力する所存であります。

最後に、市民の皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

320人で出初め式 岡豊分団が模範操法



きびきびと行われた岡豊分団による模範操法

新春恒例の消防出初め式が一月六日、市立中央公園(土曜市会場)で行われ、日ごろ防災活動に積極的に取り組んでいる十二の消防分団、市消防署員ら約三百二十人が勢ぞろいしました。

まず、斎藤正展団長が「本年もあらゆる災害の予防に努力していただき、市民の生命と財産を守ってください」と開会のあいさつ。続いて小笠原市長らが、整列した各分団ごとに人員、服装などの点検をしました。その後、県大会へも出場した岡豊分団による模範操

